

ウムやリーダー研修など、準備を行っていました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年3月に1年程度の開催延期が決定、また、更に残念な事に2021年7月に一都三県の無観客開催が決定し、観戦者や外国の方が訪れることはありませんでした。

その中でも素晴らしい出来事がありました

男子110メートル金メダリスト ジャマイカのパーチメント選手と大会ボランティアの河島ティヤナさんです。



パーチメント選手は、大会当日（準決勝）乗車バスを間違えて競泳会場に向かってしまい困っているところ、ボランティアの女性にタクシー代を借りてスタジアムに戻ることができ、その後見事に金メダルを獲得しました。後日パーチメント選手はこの女性を探し出してお金を返し、金メダルを見せてくれたそうです。実はこの女性が当社スタッフでもある河島さん。人を助け支え行動することの素晴らしさを改めて深く感じる出来事でした。

帰国者・入国者への支援事業

2020年から2021年のコロナ禍で行いました。きっかけの一つは中国在留日本人の帰国を政府が表明した事です。2020年1月、感染症拡大が現実のものとなり、邦人の安全な帰国を目的として当時の政府が意思表示をしました。きっかけの二つ目は外国籍の方々、特に留学生の再入国を政府が解禁することを発表した事です。何度となく入国制限や制度変更があり我々は政府の発表に左右されましたが、日本に入国する留学生が空港での検査に始まり、待機施設や移動手段の確保に困ることになるのは間違いない、と考えたことがきっかけです。入国後のホテル待機や自宅・日本滞在先までの移動、さらには待機中の健康観察やPCR検査など包括的なサービスを、邦人帰国を検討している海外進出企業や留学生を受け入れる首都圏をはじめとする大学、日本語を学ぶべく来日を予定した日本語学校学生に提供する、ということを考えました。我々は支店社員全員で約400の海外進出企業と約600の大学や日本語学校に電話を行い、そのような要望や希望があるかを聞いてまわりました。その結果、日本への帰国者約2400名、留学生の入国者約2,300名、合計約4,700名の支援と70,000泊あまりの宿泊手配を行いました。当時は宿泊待機が最大で15泊でしたので相当数の客室を利用した形になります。現在も一部企業や大学において、今度は技術者支援や研修プログラムなどのサポートを行っています。

お客様から「コロナ禍で大丈夫ですか？」と心配のお言葉をたくさんいただきました。実際に2020年以降皆様も職場やお仲間と旅行に出かけることはほとんどなかったと思います。私もいつの間にかパスポートの有効期限が切れ、旅行をすることも、売ることもなかった時期が長く続きましたが、その中でもオリンピック・パラリンピックでの活動や帰国入国支援を行うことで、苦しい時期でありながら社会貢献を行えたことは会社として誇らしい事例であると思っております。

3.ロータリー国際大会メルボルン

オーストラリア第2の都市で、世界で最も住みやすい都

市と言われるメルボルンでの開催となりますので、多くの方にご参加いただければと思っております。また、せっかくの機会ですのでシドニーに寄って帰ってくるコースなどもよろしいのではと思っています。コロナ禍からの円安と原油高の影響を受け、従来の海外旅行と趣きや価格帯がだいぶ変化していますが、多くの皆様にとっても久しぶりの海外旅行が実施できるようご案内に努めてまいります。

年次総会

次年度理事役員の発表が行われました。

■会長エレクト 藤嶋 剛史

会長 藤嶋 剛史
副会長（研修リーダー）

染谷 義一

会長ノミニー 押野 一郎

直前会長 小沢 孝

幹事 横溝 一樹

会計 伊田 雄二郎

SAA 竹内 雅人

長期計画特別 内山 泰成

クラブ管理運営担当理事 大楽 剛

公共イメージ担当理事 十文字 裕司

会員増強維持担当理事 新藤 栄介

職業奉仕担当理事 山崎 一祥

国際奉仕担当理事 吉田 浩士

社会奉仕担当理事 小林 政良

青少年奉仕担当理事 井上 勝美



クラブ協議会

中間決算について、榎本 貞寿 幹事が内容の説明をしました。異議なしとのことで承認されました。

